

会員のひろば

サステナブルを楽しく伝える、教える、作る会社！



㈱懐中電灯

◆代表取締役：生形修
〈群馬本社・アトリエ〉
◆住所：太田市西本町 46-2
＜東京拠点：
シティラボ東京メンバーカンパニー＞
◆住所：東京都中央区京橋 3 丁目 1-1
東京スクエアガーデン 6 階 シティラボ東京

◆TEL：050-5601-1868
◆営業時間：9:00 ～ 18:00
◆定休日：土曜・日曜日・祝祭日

◆HP
<https://www.kaichu-dento.com/>



株式会社懐中電灯が手がける「カプセルアート」に話題が集まっている。ワークショップ、セミナーを通した人材育成の企画開発運営を手がける株式会社懐中電灯は2021年5月設立。人材育成といっても同社の手がけるそれは廃棄物のアップサイクルを核にサステナブル、ダイバーシティ、SDGs 教育といった内容を含んだもので、世界が抱えるさまざまな社会問題の解決の糸口になるものと言っていい。特に若年層にフォーカスしたものが多く、同社の活動を通じて、ヤングケアラー

や障がい者など社会的マイノリティーが生きがいや、やりがいを見つけられるきっかけを提案している。現在同社が力を入れているのが「カプセルアート」。ガチャガチャのカプセルを使った作品を作ることで、意欲・探究力・体験力・感性を育み、その子自身の存在を受け入れ児童の持つ特性を伸ばすプログラムだ。現在、同プログラムのクラウドファンディングを実施中。メディア等で取り上げられることも多く今後さらに注目を集める取り組みと言えよう。



(ワークショップの様子)



地域に根ざした医療を目指す！

医療法人 海宝会
明和セントラル病院

医療法人 海宝会 明和セントラル病院

◆院長：海宝雄人
(写真)



◆住所：邑楽郡明和町中谷 3 3 1 - 1
◆TEL：0276-84-1234
◆FAX：0276-50-1234
◆診察時間：8:30 ～ 12:00
15:00 ～ 18:00
◆休診日：土曜午後・日曜・祝祭日

医療法人 海宝会 明和セントラル病院は館林市で戦後間もなく開院した海宝病院が2011年に移転開院したものだ。消化器内視鏡、消化器外科を中心に生活習慣病、循環器、呼吸器、検診など幅広く対応している。基本理念は「医療を通じての希望と幸せの提供」。海宝院長は「常に患者さんとその家族に寄り添う気持ちを忘れずに診療をおこなうこと」と話す。同院が目指すものは「地域に根ざした医療」。明和町の川俣駅に移転し明和メディカルセンターの名称で明和町保健セン

ターや明和町大ホール（緊急避難所としても使用）などを併設、明和町に病院がなかったこともあり、同院ができたことは明和町にとっても念願だった。生活インフラとして公益性の高い取り組みと言える。邑楽郡・館林市は医師数や、医療機関の数が少ない地域だが「医療機関や行政との連携は比較的とれている地域」（院長談）だと言う。同院では医療機関として他院との連携も大切にしているが、さらにこれらの連携を維持、発展させ地域医療の貢献を目指す。

◆HP
<https://meiwa-central.jp>



(病院の外観)



(院内の設備)